



生駒市立大瀬中学校

校長室から

平成29年 7月3日

第 4 号

校長 高島智春

『心を開いて、相手に近づく』

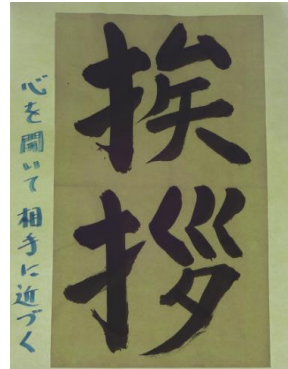
毎日、昇降口でとても気持ちの良い朝を迎えています。それは、生徒の皆さんと朝の挨拶ができるからです。生徒の皆さんからの元気の良い「おはようございます」という挨拶でこちらが元気をもらっています。また、軽く会釈をして笑顔で挨拶をされると、とてもうれしくなります。

「挨拶」という漢字には、「心を開いて、相手に近づく」という意味があるそうです。挨拶は自分の心を開くことで相手の存在を認め、それを相手にわかるように伝える行為なのです。そこには**相手を尊重する気持ち、大切にしたいという気持ちが込められている**のです。だから、挨拶を返してもらおうと気持ちが良くなり、そして挨拶をする人どうしの心の距離を縮め、親近感や連帯感を持つきっかけになると思います。

生活委員会では毎週火曜日に昇降口で「挨拶運動」をしてくれています。気持ちの良い挨拶の輪が広がることを願っています。

「いじめに関するアンケート」

6月の初旬に、学級担任と生徒一人ひとりが面談をする「教育相談」を行いました。そして、先週は、「いじめに関するアンケート」を実施しました。これは、いじめの被害に遭い悩み苦しんでいる人がいないかの確認をすること、そして、一人ひとりが自分のことを振り返り、「**いじめは、人として絶対に許されないことである**」ということを改めて考えてもらう機会



(昇降口の掲示物)

とするために行いました。もし、悩み事や心配事があれば一人で抱え込まずに、先生や友だち、家の人などに相談してください。

学校は、誰にとっても安心して生活できる場でなければなりません。安心して生活ができるということは、人から冷やかしやからかい、悪口など言葉によって心を傷つけられることがない、仲間はずれにされたり、無視されたりすることがないということです。

特に、学校の中で一番多くの時間を過ごす教室では、学級の誰もが安心して生活できる場でなければなりません。皆さんの学級は、誰もが安心して生活できる場になっているでしょうか。人を認め大切にするそんな教室をみんなで作ってください。



(中庭のマリーゴールド)

7月は、「命を守る月間」!

今月は、生徒の皆さんと先生たちが共に「かけがえのない命の大切さや尊さ」を感じ取り、自分や周りの人たちの命を守ることをねらいとして以下の取組を行います。



- ◎「命の大切さを考える講演会（命の授業）」〈7/7〉
- ◎避難訓練（地震による災害から身を守るために）〈7/10〉
- ◎防犯教室および安全指導（犯罪から身を守るために）〈7/14〉

また、学校として校内の環境、施設の安全点検を実施し、部活動等での熱中症予防への取組も進めていきます。

生徒の皆さんと先生たちで命の大切さや尊さ、生きることを意味を考え、命を守る行動につなげていきたいと思っています。